

地域の未来を、
自分たちの力で切り拓きたい。
そんな行政職員を募集します。

開催日時
5月29日・6月12日・7月3日
8月7日(いずれも金曜日)
開催場所
C10 ニホンバシ (東京都中央区)
慶應義塾大学
募集人員——10自治体30名

地 方 創 生 ス ク ー ル

地域みらい大学 × 慶應義塾大学SDM

昨年、「地方消滅」という言葉が大きなインパクトを与えました。
大都市への流出と少子化による人口減少、超高齢化、地域産業の衰退…
日本の地方圏を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そんな地域を救えるのは、地域で暮らす住民一人ひとりと行政職員です。
地域の課題をリアルな自分ごととして感じている皆さんだからこそ
捉えられる「問題の本質」がある。
提案できる「実質的な創生プラン」がある。

地域を救えるのは、地域住民の力なのだ。私たちは、いまそう信じています。

地域みらい大学と慶應義塾大学SDMの地域産業育成、地域活性化に関するノウハウを活用し、
同じような志を持つ他の地域の行政職員とともに、地域の未来を切り拓きましょう。

応募要項

参加者と定員 自治体職員 10組 20-30名 / 費用 1自治体 ¥324,000(税込)

※基礎自治体職員を最低1名含む2人組、3人組でご参加ください。

※3/12(木)より募集開始。応募多数の場合、先着順で決定いたします。

申し込みウェブサイト <http://socialdesignschool.jp/category/chihososei>

プログラム

1日目 地域の課題を構造化する 5/29(金) 13:00-17:00 @CLIP日本橋(東京都中央区)

講義: ソーシャルデザインと地方創生プラン 寛裕介 (issue+design 代表)

講義: デザイン&システム思考と地域課題 前野隆司 (慶應義塾大学大学院教授)

ワークショップ: システム思考マップを活用し課題を構造化する

2日目 課題解決の方法論を学ぶ 6/12(金) 10:30-17:00 @慶應義塾大学

講義: 世界で選ばれる観光地づくり 山田桂一郎 (JTIC.SWISS 代表)

講義: 福祉とコミュニティデザイン 山崎亮 (studio-L 代表 / 東北芸術工科大学教授)

講義: 食と地域ブランド 西原行徳 (グラムコ株式会社取締役)

*各60分の講義後に講師を交えた各分野別ワークショップを実施

*6/12のみ慶應義塾大学の公開講座として一般の方の参加も無料で受け付けます

3日目 地域の未来像を描く 7/3(金) 10:30-21:00 @CLIP日本橋

講義: 地域の未来像と幸福4因子 前野隆司 (慶應義塾大学大学院教授)

ワークショップ1: 幸福4因子 × 地域課題で未来を発想する

ワークショップ2: 先進的社會事象 × 地域課題で未来を発想する

ワークショップ3: 2030年の地域の未来をシナリオ化する

4日目 地方創生プランを発表する 8/7(金) 10:30-17:00 @CLIP日本橋

各地域が練り上げた地方創生プランを発表し、有識者および他自治体参加者より

フィードバックをもらい、ブラッシュアップします



講師



前野 隆司 [慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長/教授]

東京工業大学修士課程修了。キヤノン株式会社、ハーバード大学客員教授を経て現職。博士(工学)。ロボティクスから、イノベーション教育、地域活性化まで、人間に関わる社会・技術デザインの研究に従事。「幸福学」研究の第一人者。著書に「幸福のメカニズム(講談社現代新書、2013年)」他。



山田 桂一郎 [JTIC.SWISS 代表]

1987年からスイス・ツェルマットをはじめ、スイス国内の地方政府観光局でマーケティングに携わる。92年にJTIC.SWISS(日本語インフォメーションセンター)を設立。海外での経験から「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広める観光カリスマ」として日本政府から選定される。



寛裕介 [issue+design / hakuhoodo i+d 代表]

一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。社会課題解決、地域活性化のためのデザイン領域のプロジェクトに取り組み。著書に『ソーシャルデザイン実践ガイド』など。「Community Travel Guide」、「できませずゼッケン」、「親子健康手帳」などで他国内外の受賞多数。



西原 行徳 [グラムコ株式会社 取締役]

地域、企業、組織のブランド理念構築から、ネーミング開発、ロゴマーク、各種デザイン作業のディレクションに至るまでのプロジェクトマネジメントを数多く担当。「地域ブランド」の専門家として、富山県氷見市および北海道日高町にて開催された地域みらい大学にて、地域ブランドづくりに従事。



山崎 亮 [studio-L 代表、東北芸術工科大学教授(コミュニティデザイン学科長)]

大阪府立大学大学院修了。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。著書に「コミュニティデザイン(学芸出版社)」「コミュニティデザインの時代(中公新書)」他。



西上 ありさ [ファシリテーター / studio-L]

2003年大阪芸術大学芸術学部環境計画学科卒業。2005年よりstudio-L 参画。2009年から2011年にかけて海士町教育委員会のまちづくりコーディネーターとして集落診断・集落支援に携わる。主な仕事に、住民参加による総合計画の策定、地域の特産品開発、集落診断・集落支援、地域包括ケアなど。